

がん化学(放射線)療法レジメン申請書

* 記入不要です

申請期日	2008/9/30
診療科名	泌尿器科
診療科長 署名	
申請医師 署名	
登録確認日	
登録削除日	

受付番号	*
がん腫(コード)	*
レジメン登録ナンバー	*

以下(a), (b)は 2 ページ目記載の参考にし

がん種	レジメン名	実施区分	使用分類	適応分類
尿路上皮癌	GC 療法 (ジェムシタ ビン + カル モプラチン)	<input checked="" type="checkbox"/> 入院 <input type="checkbox"/> 外来 <input type="checkbox"/> 入院及び外来	<input type="checkbox"/> 日常診療(試験以外) <input checked="" type="checkbox"/> 単施設自主研究 <input type="checkbox"/> 多施設自主研究 <input type="checkbox"/> 市販後臨床試験 <input type="checkbox"/> 治験 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input checked="" type="checkbox"/> 通常化学療法 <input type="checkbox"/> 大量化学療法 <input type="checkbox"/> その他()

臨床試験の場合記入	
期間	~
Phase	<input type="checkbox"/> I <input type="checkbox"/> I/II <input type="checkbox"/> II <input type="checkbox"/> II/III <input type="checkbox"/> III <input type="checkbox"/> IV <input type="checkbox"/> その他

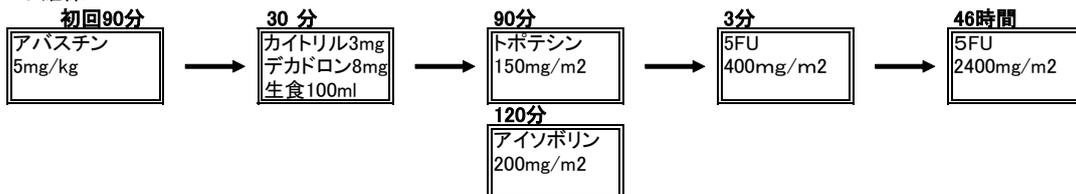
てください。

(a)投与スケジュール記載例

開始時の設定投与量	mg/kg	day	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
薬剤名	mg/m ²																												
アバスチン	5mg/kg	●																											
トポテシン	150mg/m ²	●																											
アイソボリン	200mg/m ²	●																											
5FU	400mg/m ²	●																											
5FU	2400mg/m ²	●																											

(b)1 日のスケジュール記載例

ルート確保



1ページ目の記載例に準じて記入してください。

(a) 投与スケジュール

(行の挿入、表のコピーペーストは可能です。)

薬剤名	投与量	day1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
ジェムザール	800 (mg/m ²)	●							●							●													
カルボプラチン	[4(AUC) × { 24HCGR(ml/min) + 25 }] (mg)		●																										
1コース期間	28日	目標コース数					□有 (コース) ■無 (PD まで)																						

(b) 1日のスケジュール (投与時間も記入してください。テキストボックスはコピーアンドペーストで増やせます。)

【Day1, 8, 15】

【Day2】

ルート確保(80ml/時 24時間)

ルート確保(80ml/時 48時間)

15分

30分

3時間30分

カイトリル	3 mg
デカドロン	8 mg
生食	50 ml



ジェムザール	
800 mg/m ²	
生食	100 ml

カルボプラチン	
[4(AUC) × { 24HCGR(ml/min) + 25 }] mg	

(審査の参考にしますので簡単に記載してください。)

基準項目	
適格基準	
除外基準	
開始基準	
次コース 開始基準	
休薬基準	
投与量 変更基準	
中止基準	

・本レジメンが、臨床試験の場合はプロトコルの解説を簡単に記載してください。

・レジメン審査の規準は以下のとおりとなっています。

- ① 標準治療であること。または、標準治療に準ずる治療であること。
- ② IRBの審査を受けた試験であること。

これらの規準をふまえた上で、本レジメンのエビデンスを簡単に記載してください。

尿路上皮癌に対する標準的化学療法としては M-VAC 療法が一般的であるが、CDDP を有する為、24CCr が 50ml/min 以下の腎機能障害患者には使用できない。

現在、ジェムシタビンとカルボプラチンの併用療法が腎機能障害を有する尿路上皮癌患者に有効があることが報告されてきている。

当院においても上記患者において投与を行うこととしたい。